

登録コード:MH190200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目・必修
科目名	臨床老年看護論【22M以降】 Clinical Gerontological Nursing		
担当教員	會田 信子 他 塚田 尚子		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/2年 後期 木曜・3時限		
単位数、講義室	1単位	多目的講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護専門職者に必要な老年看護学の国家試験レベルにおける老年症候群の病態と看護支援のあり方を説明できる。
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		社会で派生する多様な健康問題に対して、看護専門職者に求められる倫理的・道徳的姿勢を修得し、医療・介護を受ける高齢者とその家族への支援のあり方を説明できる。
授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本講では、高齢者の安全・安楽・自立を基盤とした療養生活を支える老年看護実践に必要な基本的態度や知識、問題解決のためのアセスメント技術を習得することを目的として進めます。 本科目は、2年次前期で学んだ老年看護学系科目（老年看護学概論等）と基礎医学系科目（成人看護健康論 等）の知識を前提とし、3年・後期の「老年看護学実習」における重要な基礎的知識となります。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業は、担当教員の医療機関や高齢者施設での看護師としての実務経験を活かして講義を行います。		
授業計画	後期で学ぶ『臨床老年看護論/木3限』と『老年看護方法論/木2限』は、学習内容の順序性を考慮しながら統合的に展開します。開講日時に注意して下さい。 第1回（10月01日/木2限）ガイダンス 高齢者と感染症（疥癬）＜小テスト1＞〔會田〕 第2回（10月01日/木3限）脳血管障害と高齢者のリハビリテーション＜小テスト2＞〔會田〕 第3回（10月08日/木2限）高次脳機能障害（失語症・失認症・失行症）＜小テスト3＞〔會田〕 第4回（10月08日/木3限）パーキンソン病、パーキンソン症候群＜小テスト4＞〔會田〕 第5回（10月15日/木2限）摂食嚥下障害、誤嚥性肺炎＜小テスト5＞〔會田〕 第6回（10月15日/木3限）認知症、うつ病、せん妄 認知症の病態＜小テスト6＞〔會田〕 第7回（10月22日/木2限）認知症、うつ病、せん妄 BPSDと薬物・非薬物療法＜小テスト7＞〔會田〕 第8回（10月22日/木3限）認知症、うつ病、せん妄 介護家族と成年後見制度＜小テスト8＞〔會田〕 第9回（10月29日/木3限）睡眠障害＜小テスト9＞〔會田〕 第10回（11月05日/木2限）排尿障害 病態と治療＜小テスト10＞〔會田〕 第11回（11月05日/木3限）排尿障害 予防と看護＜小テスト11＞〔會田〕 第12回（11月12日/木2限）脱水症と熱中症＜小テスト12＞〔會田〕 第13回（11月12日/木3限）薬物療法と看護＜小テスト13＞〔會田〕 第14回（12月03日/木3限）手術療法と看護＜小テスト14＞〔會田〕 第15回（01月14日/木3限）単元の総括 授業アンケートの実施〔會田〕 第16回（01月28日/木3限）期末試験：1/29(金)23:59までに自宅でeALPSにて実施〔會田〕		
授業の進め方	授業は「講義」形式で進めます。 ・指定テキストと資料、視聴覚教材を用いて進めます。 ・配付資料は事前にeALPSにアップするので、各自で印刷 or ダウンロードして下さい。 ・毎回の講義時に、テキスト、配付資料（eALPSにアップ）、ネット回線に接続できる情報処理端末（スマホ、タブレット、PCなど）を持参して下さい。 テキスト3冊は4年次の臨地実習まで使います。テキストの内容は毎年更新されるので「最新版」を購入して下さい。毎回、その日に使うテキストをeALPSに提示するの持参して下さい。		
テキスト、教材、参考書	【テキスト】 1)會田信子他(編),最新老年看護学(最新版),日本看護協会出版会. 2)堀内ふき他(編),ナースング・グラフィカ老年看護学 高齢者看護の実践(最新版),メディカ出版. 3)野尻晋一(著),リハビリテーションからみた介護技術(最新版),中央法規. 【参考書】 各講義の中で随時、提示します。		

成績評価の方法	成績評価は、1)小テスト50%、2)期末試験50%の配分比による合計点で実施します。 1) 小テスト (計14回) ・テストは、講義終了後に実施していただきます。問題数と制限時間は、その都度、eALPSに提示します。 ・小テストは、講義終了翌週の水曜日23:59までに実施して下さい。 ・小テストは、複数回の実施を認めますが、評価には平均点を採用します。 ・小テスト中、資料等の閲覧は可能です。ただし、制限時間があるのでご注意ください。 ・実施直後は「正誤」と「得点」が表示され、「正答」は提出期限後に『正答と解説』PDFとともに公開します。 ・期限が過ぎた場合は、いかなる理由であっても小テストは実施できません(成績に加点しません)。 2) 期末試験 ・小テストの問題から厳選して出題します。問題数と制限時間はeALPSに提示します。 ・複数回の実施を認めますが、評価には平均点を採用します。 ・実施直後は「正誤」と「得点」が表示されます。『正答と解説』は公開しませんので、各講義の『正答と解説』を参照して下さい。 ・期限が過ぎた場合は、いかなる理由であっても期末試験は実施できません。
成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 課題提出の課題は、下記の2項目で評価します。 課題内容の適切性(50点)：課題に対して適切な内容が記載され、なおかつ、専門職者を目指す学習者としての見解が提示されている。 提出期限(50点)：指定期日・時間までに、指定された方法で提出されている。
事前事後学習の内容	【事前学習】 予習してほしい内容は、各回の講義前にeALPS上でアナウンスします。 【事後学習】 授業資料と一緒に、別紙として新聞記事や学術論文等をeALPSに提示します。講義の復習とともに、社会情勢との関係や今後の課題などを検討して、より理解を深めていって下さい。幅広い学修のために関連図書を読むなど、主体的な学習を期待しています。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします：授業時間30時間(2時間×15回)＋自己学習時間15時間(1時間×15回)＝45時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	● オフィスアワー 随時としてます。事前にメールでアポイントをとって下さい。 會田信子研究室(中校舎3F) aida@shinshu-u.ac.jp ● 出席確認 ・出席は「QRコード」と「手書き署名による出席」で確認します(欠席者の代筆等の不正行為はしないでください)。 ・事前に欠席することがわかっている場合は、メールにて、講義担当者に欠席理由を教えてください。事前に連絡できない場合は、後日でも結構です。 ● 学習の補充 ・単発的な欠席の場合、いかなる欠席理由であっても、「学習の補充」は特別に課すことはしていません。欠席した時は、eALPSにアップされている配布資料とテキストで自己学習をしてください。 ・欠席が長期間に及ぶ場合は、「学生便覧」の規程に準じた手続きをとって下さい(ただし、自己都合による欠席については学習の補充の対象となりません)。 ・欠席した場合であっても、小テストを期限内に実施すれば成績に反映されます。